

# 第42回定時株主総会

株式会社メイテック

平成27年6月18日

# 第42回定時株主総会

## 会議の目的事項

### ■ 報告事項

1. 第42期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)  
事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人  
及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第42期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)  
計算書類の内容報告の件

### ■ 決議事項

- 第1号議案 剰余金の配当(第42期期末配当)の件  
第2号議案 定款一部変更の件  
第3号議案 取締役9名選任の件  
第4号議案 監査役1名選任の件  
第5号議案 補欠監査役1名選任の件

# 2015年3月期業績〔連結〕

- ✓ 主要顧客である大手製造業が技術開発投資を持続された為、エンジニア派遣事業が業績をけん引し、売上高は前期比9.7%の増収、営業利益は36.7%の増益
- ✓ 約△36億円の特別損益や税率変更影響により、当期純利益は前期比△7.9%減益

グループ連結 (百万円未満切捨て)	'14年3月期 実績	'15年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'15年3月期 公表予想	予想比 増減額
売上高	74,906	82,136	+7,230	+9.7%	80,400	+1,736
売上原価	55,370	60,481	+5,110	+9.2%	59,300	+1,181
原価率	73.9%	73.6%	▲0.3%			
販売管理費	12,556	12,114	▲441	▲3.5%	12,600	▲485
営業利益	6,979	9,540	+2,561	+36.7%	8,500	+1,040
営業利益率	9.3%	11.6%	+2.3%		10.6%	▲1.0%
経常利益	6,978	9,643	+2,664	+38.2%	8,600	+1,043
特別損益	△145	△3,601	▲3,456			
税金等調整前当期純利益	6,832	6,041	▲791	▲11.6%		
当期純利益	3,973	3,659	▲313	▲7.9%	3,400	+259
当期純利益率	5.3%	4.5%	▲0.8%			
自己資本当期純利益率(ROE)	10.7%	9.9%	▲0.8%			
総資産経常利益率(ROA)	11.7%	15.2%	+3.5%			

# 特別損失の計上～1/2

- ✓ 2014年10月、維持費用の負担軽減及び将来の費用増加リスク削減を狙い、大型研修施設等の利用停止を決定し、第2四半期に減損損失を計上  
 → 期末に再度精査し、損失見積もり額を若干修正

**減損損失(特別損失)** **△3,615 百万円**

うち 大型研修施設関連 △3,546 百万円

**税金費用(税効果)** **+1,051 百万円**

---

**当期純利益の影響** **△2,564 百万円**

- 中期計画の販管費見込みとの比較で、  
 最大:約2億円/年の負担軽減見込み
- 老朽化による突発的・大規模修繕等の  
 費用増加リスクも削減
- コスト削減効果を速やかに享受する為、  
 売却する方針

(百万円)	減損損失
大型研修施設関連	<b>△3,546</b>
① 神戸テクノセンター	<b>△1,906</b>
② 厚木テクノセンター 社員寮	<b>△799</b>
③ 日進テクノセンター	<b>△589</b>
名古屋テクノセンターほ ④ かのうち、 名古屋E0C・メカトロC	<b>△252</b>

2015年度上期中に一部物件の  
 売却が確定的(業績予想に反映)

# 減損処理に伴う特別損失の計上～2/2

- ✓ エンジニア社員への教育・研修の質・量ともに問題は生じない、と判断  
 → 大型研修施設(テクノセンター)は2か所となるが、すでに大型施設を補完する地域密着型の中規模教育研修施設(EOセンター)を12か所設置済み

## 大規模研修施設

名古屋 テクノセンター      厚木 テクノセンター



## 地域密着型・中規模教育研修施設 (EOセンター)12か所

東日本エリア	仙台、宇都宮、さいたま、筑波、東京、立川
神奈川・静岡エリア	横浜、静岡
中日本エリア	甲信越
西日本エリア	京都、大阪、福岡

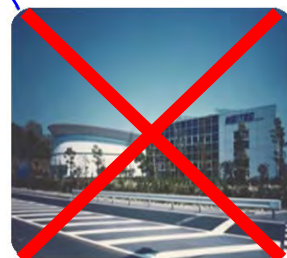
1992年4月開設  
 神戸  
 テクノセンター



1985年7月開設  
 名古屋EOC・メカトロC



1997年3月開設  
 日進  
 テクノセンター



1993年3月開設  
 厚木テクノセンター  
 社員寮



# 2014年3月末資産・負債・純資産〔連結〕

(百万円未満切捨て)	前連結 会計年度末	当連結 会計年度末	増減率	
			増減額	増減率
流動資産合計	44,998	51,639	+6,640	+14.8%
固定資産合計	16,447	13,458	△2,988	△18.2%
資産合計	61,445	65,098	+3,652	+5.9%
流動負債合計	12,589	15,797	+3,207	+25.5%
固定負債合計	12,667	11,735	△932	△7.4%
負債合計	25,257	27,532	+2,275	+9.0%
株主資本合計	38,299	39,619	+1,320	+3.4%
その他の包括利益累計額	△ 2,157	△ 2,103	+54	-
少数株主持分	46	48	+2	+6.3%
純資産合計	36,188	37,565	+1,377	+3.8%
負債純資産合計	61,445	65,098	+3,652	+5.9%

# 主要な事業内容・子会社の状況(2015年3月末)

## 派遣事業

株式会社メイテック

株式会社メイテックフィルダーズ(100.0%)

株式会社メイテックキャスト(100.0%)

株式会社メイテックEX(100.0%)

## エンジニアリングソリューション事業

アポロ技研株式会社(81.2%)

上海阿波馬可科技有限公司(81.2%)

## 紹介事業

株式会社メイテックネクスト(100.0%)

株式会社all engineer.jp(100.0%)

明達科(上海)科技有限公司(100.0%)

明達科(上海)人才服务有限公司(70.0%)

明達科(西安)科技培訓有限公司(100.0%)

明達科(成都)科技培訓有限公司(100.0%)

( )の数値は、議決権比率です。

# 2015年3月期業績〔事業セグメント〕

- ✓ 引き続き連結売上高の9割超を占める派遣事業が業績をけん引
- ✓ エンジニアに特化した紹介事業も増収増益、エンジニアリングソリューション事業は黒字転換

グループ・セグメント (百万円)	'14年3月期 実績	'15年3月期 実績	前年比 増減額	前年比 増減率
派遣事業 売上高	72,486	79,346	+6,860	+9.5%
構成比	96.8%	96.6%	▲0.2%	
営業利益	6,809	9,145	+2,336	+34.3%
紹介事業 売上高	1,011	1,340	+328	+32.4%
構成比	1.4%	1.6%	+0.3%	
営業利益	183	387	+203	+111.1%
エンジニアリングソリューション事業 売上高	1,563	1,657	+94	+6.0%
構成比	2.1%	2.0%	▲0.1%	
営業利益	▲21	12	+33	—

※2015年3月期 第1四半期より事業セグメントの区分を変更し、従来の「グローバル事業」は「紹介事業」に含めております。  
 また、2014年10月1日付で当社の連結子会社である株式会社メイテックCAEを吸収合併したことに伴い  
 「エンジニアリングソリューション事業」に含めていたCAEの経営成績を「派遣事業」に含めて表示しております。  
 よって、前年同期比は前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

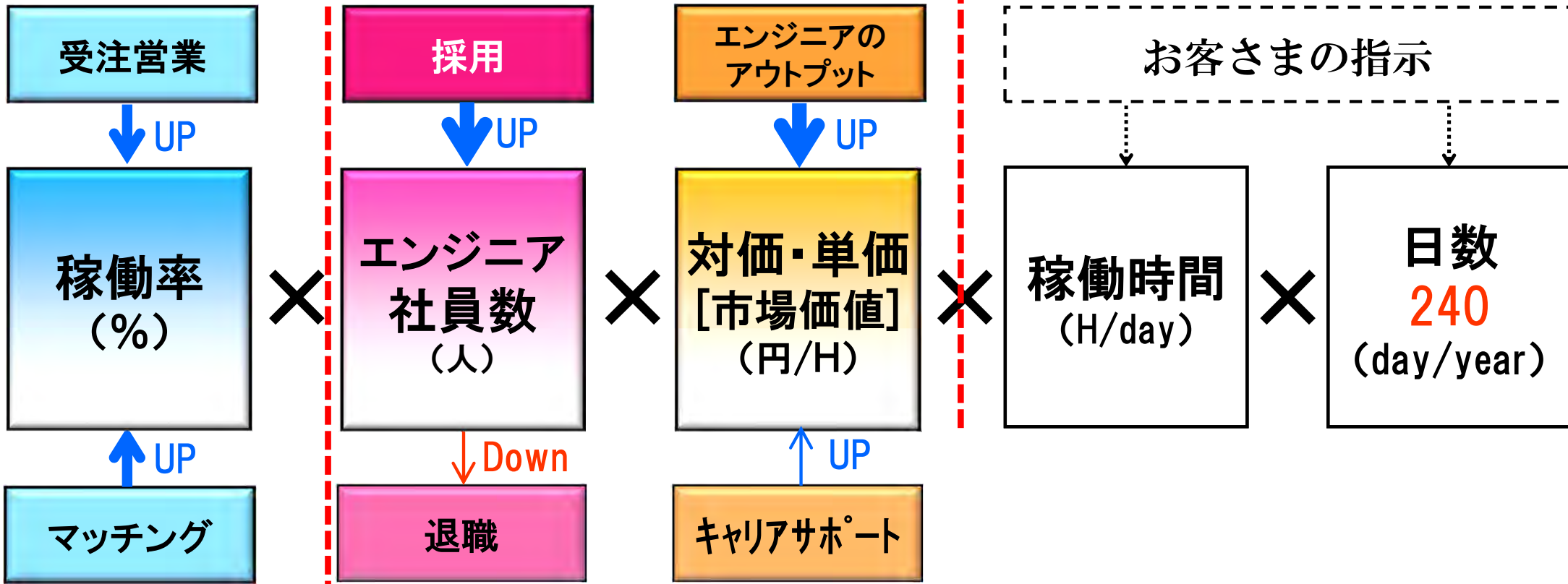


# エンジニア派遣事業の売上高・原価の概要

- ✓ 無期雇用・正社員エンジニアの派遣事業では、高水準の「稼働率と対価」を維持・向上しながら、エンジニア社員数の増員が成長の鍵

## 企業努力でコントロール可能

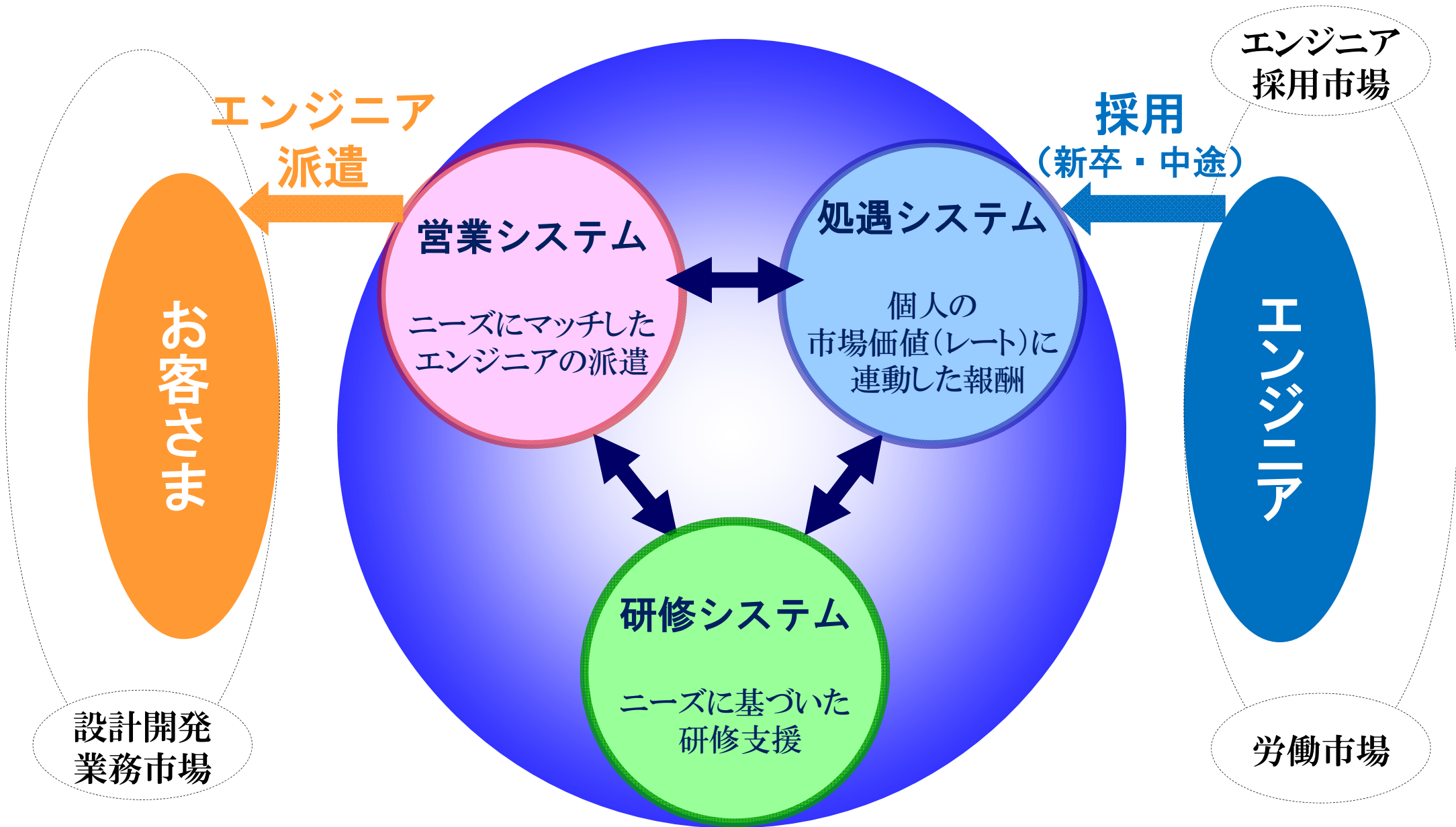
## コントロール不可



売上高

原価

# エンジニア派遣事業のビジネスモデル



# 対処すべき課題

エンジニア派遣事業の将来の業績は、技術力の高いエンジニア社員数とその稼働率の多寡に懸かっています。下記の3業務を永続して強化し、持続的成長を実現していくことが最大の課題です。

## ①受注営業

稼働人員数の増加や稼働率の維持・向上を図るための受注量の確保はもちろんのこと、エンジニアのキャリアアップの選択肢を拡げるためにも業務領域を拡大し、機会と場を提供し続けることが最重要です。

## ②採用・増員

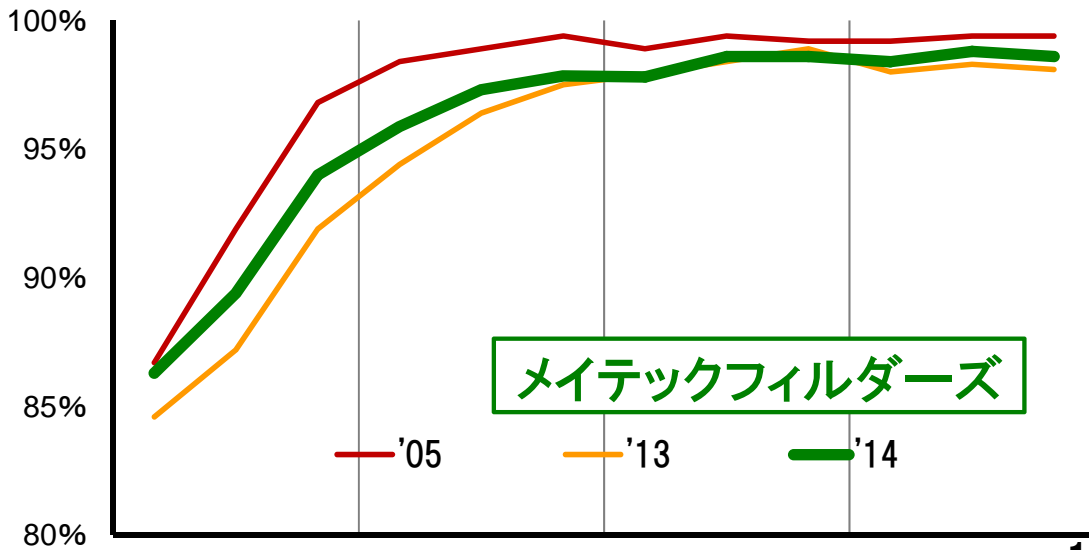
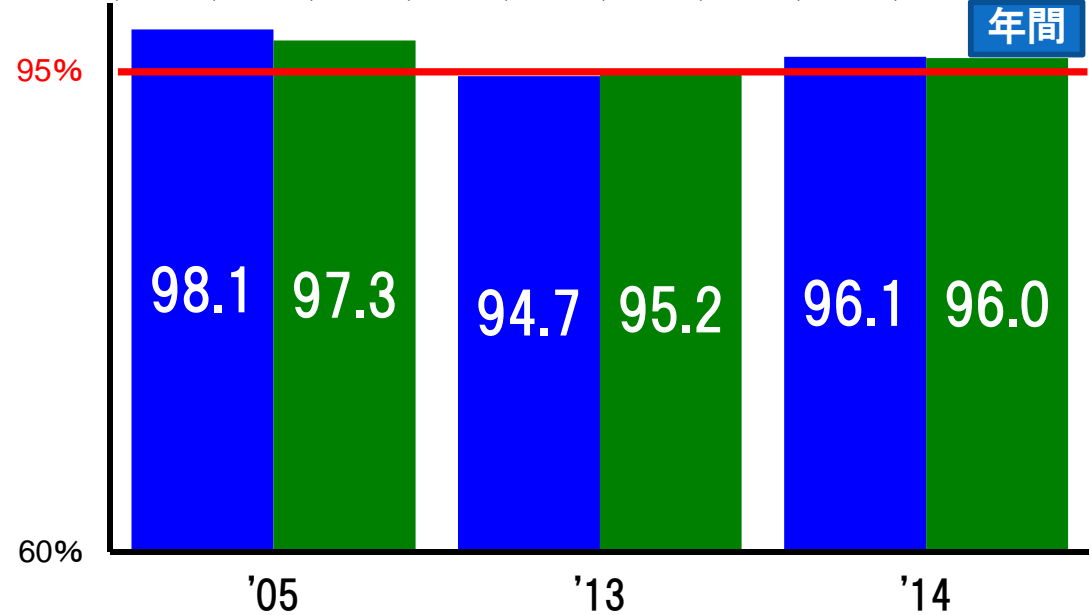
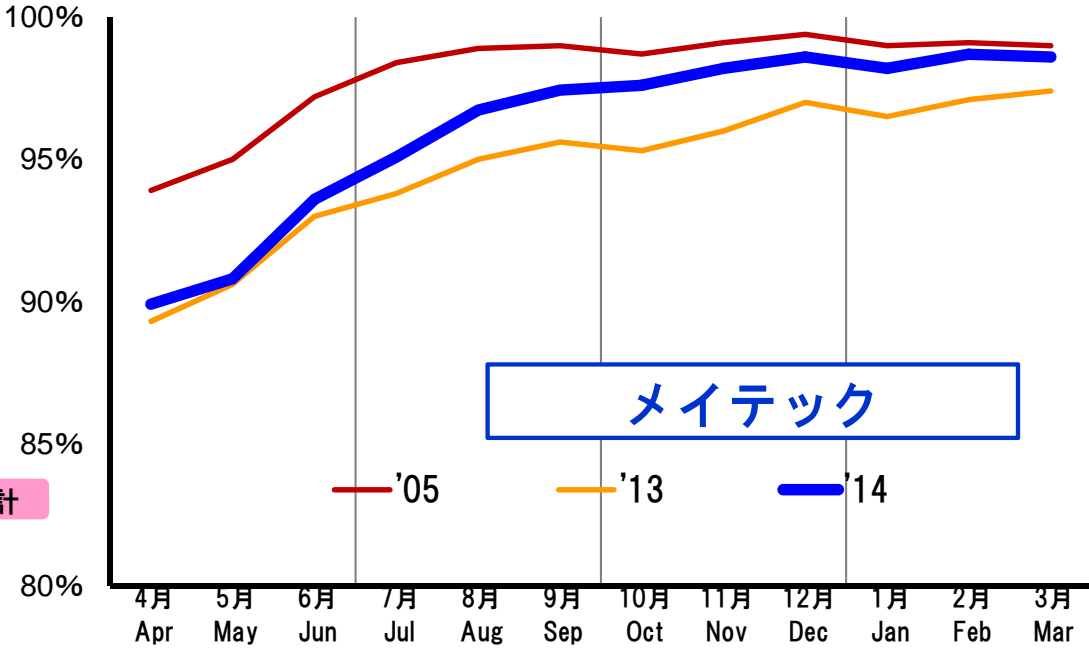
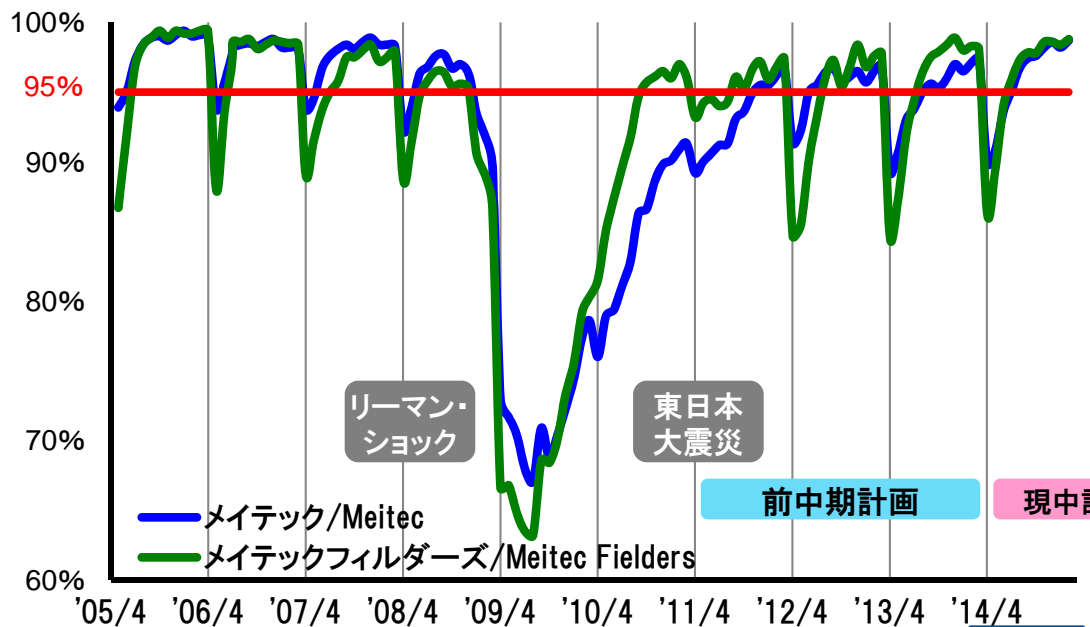
日本最大の「プロのエンジニア集団」である当社グループにおいては、エンジニアを中心とした多くの優秀な人材を確保することが成長力の源泉となります。

## ③キャリアサポート

日本最大の「プロのエンジニア集団」における品質の維持・向上を図るためには、一人ひとりのエンジニアのキャリアアップをきめ細やかにサポートしていくことが必要不可欠であります。

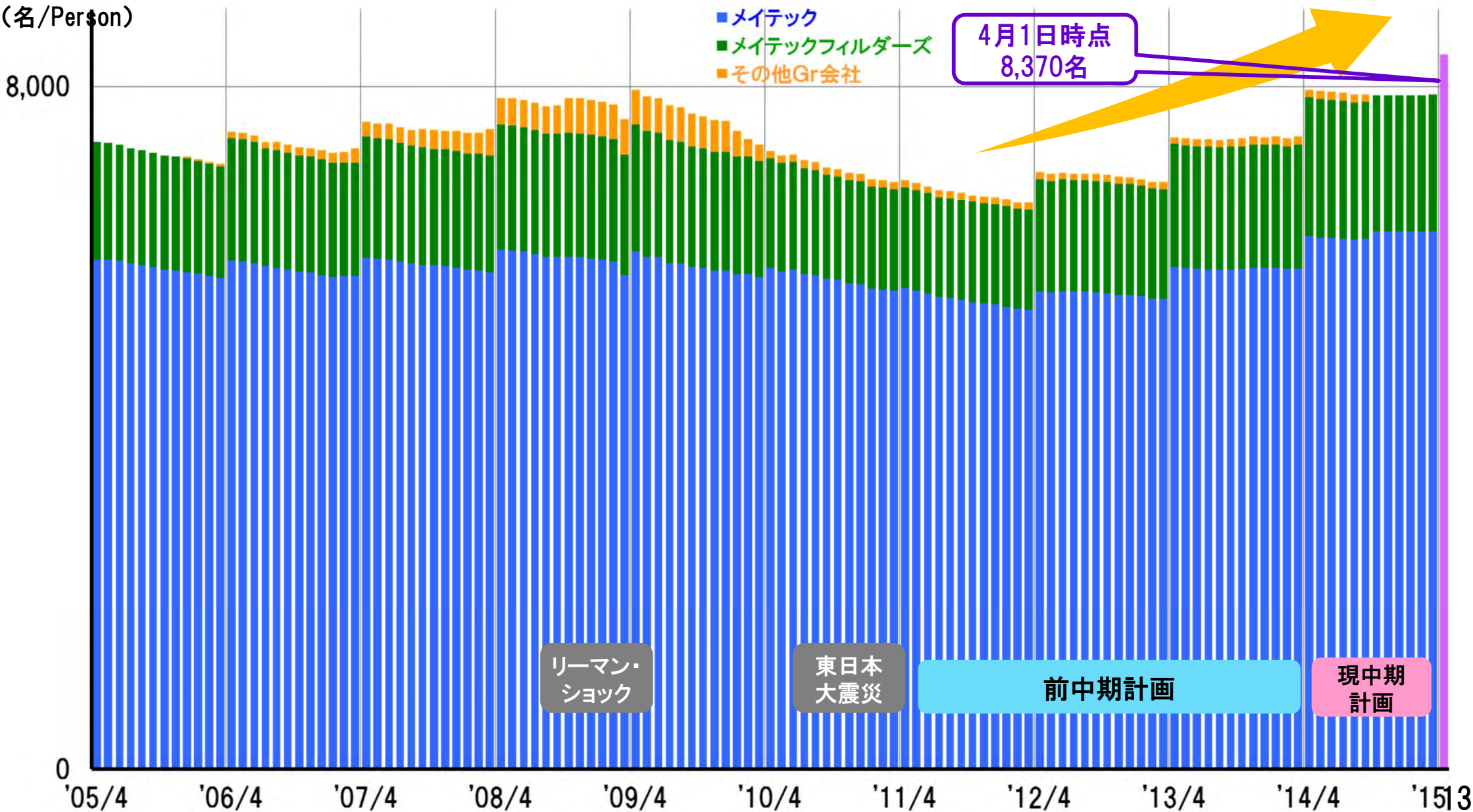
# 稼働率

✓ 堅調な受注環境の下、配属が順調に進み、稼働率は高水準



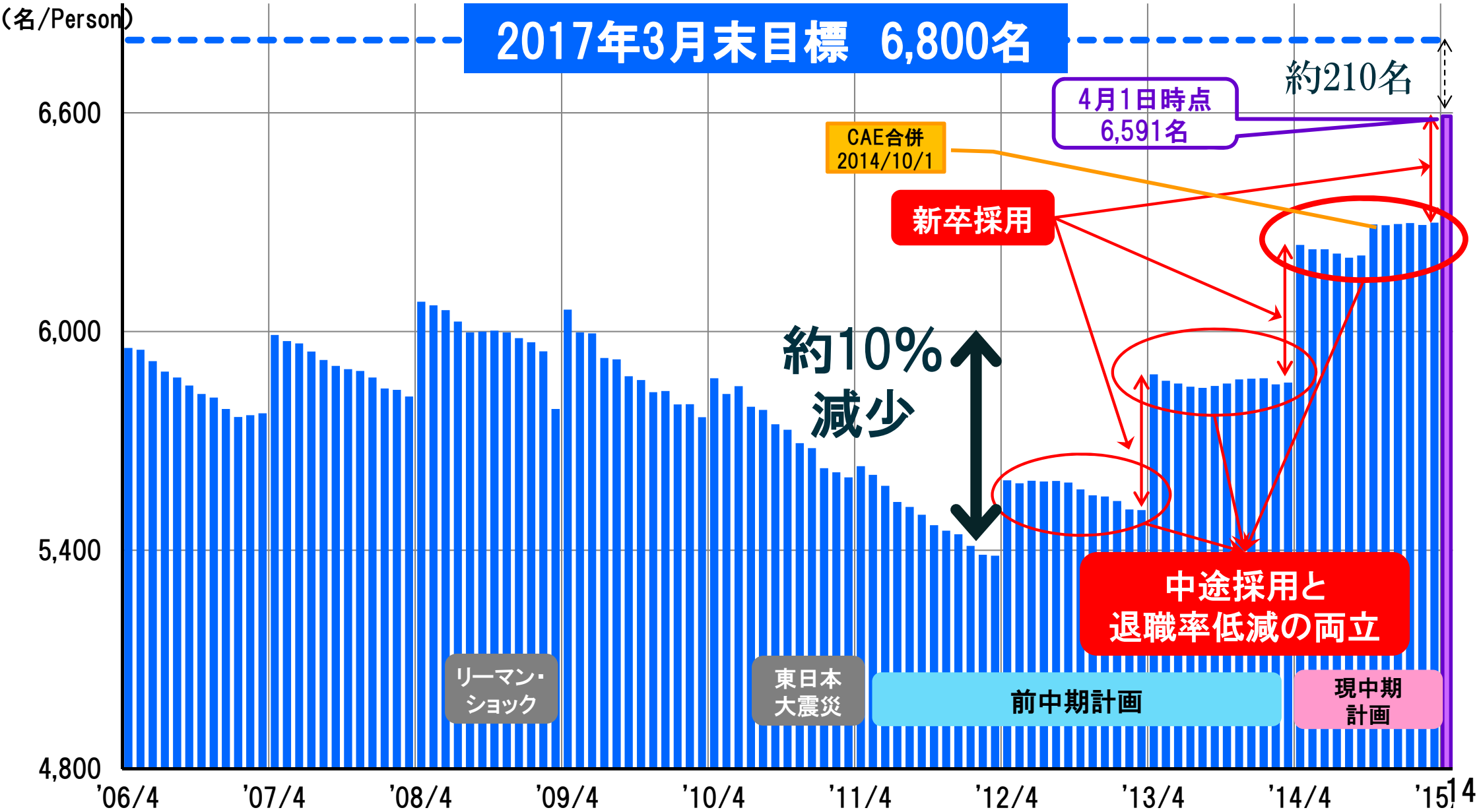
# エンジニア社員数 グループ連結

- ✓ 3月末のエンジニア社員数は7,900名(前年3月末比+488名、+6.6%)
- ✓ 4月1日時点では、過去最高の8,370名に到達



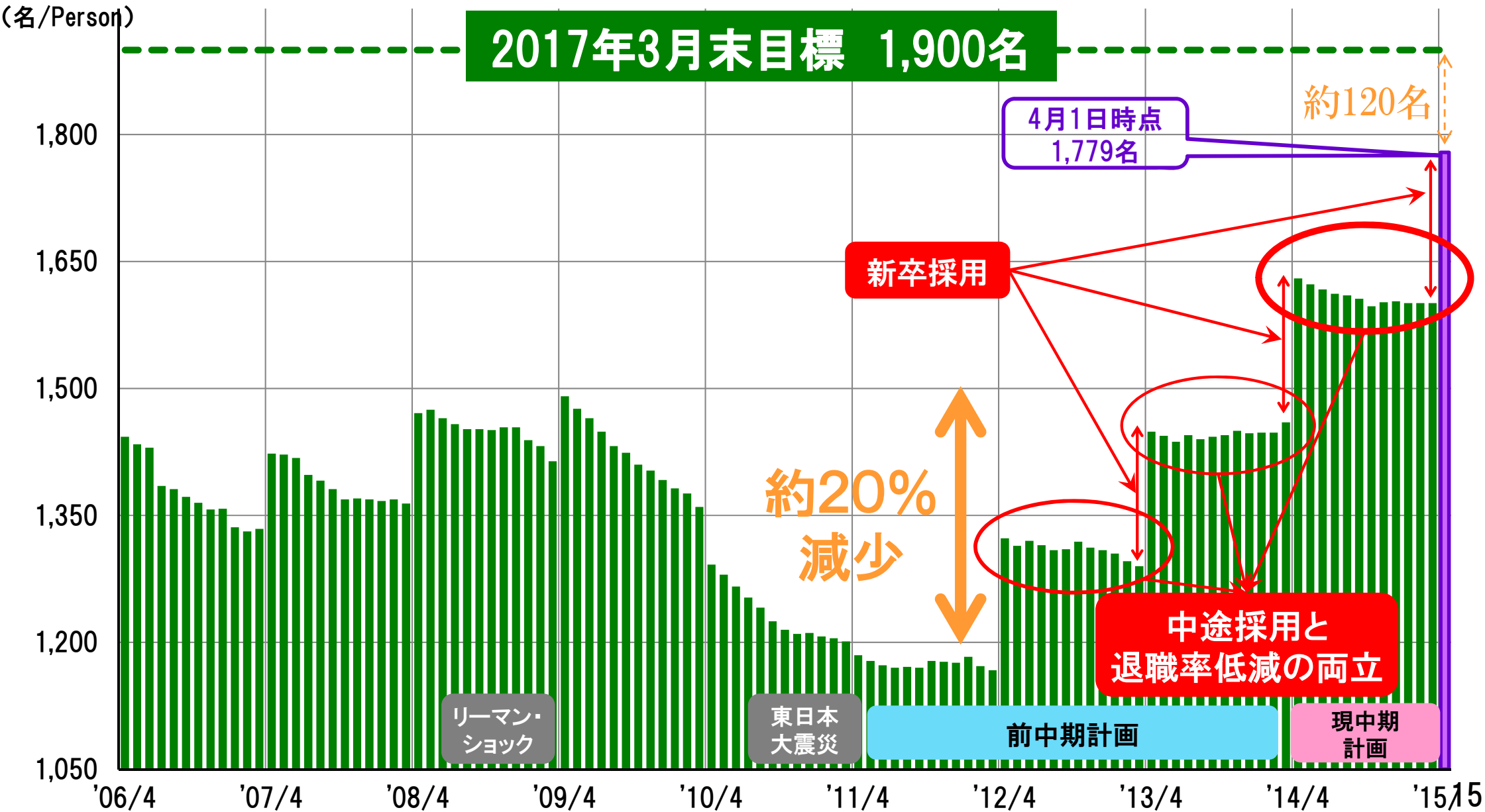
# エンジニア社員数 メイテック

- ✓ 3月末エンジニア社員数は6,299名(前年3月末比+439名、+7.5%)※CAE合併含む
- ✓ 本年4月新卒入社数は299名、過去最高の6,591名で新年度をスタート



# エンジニア社員数 メイテックフィルダーズ

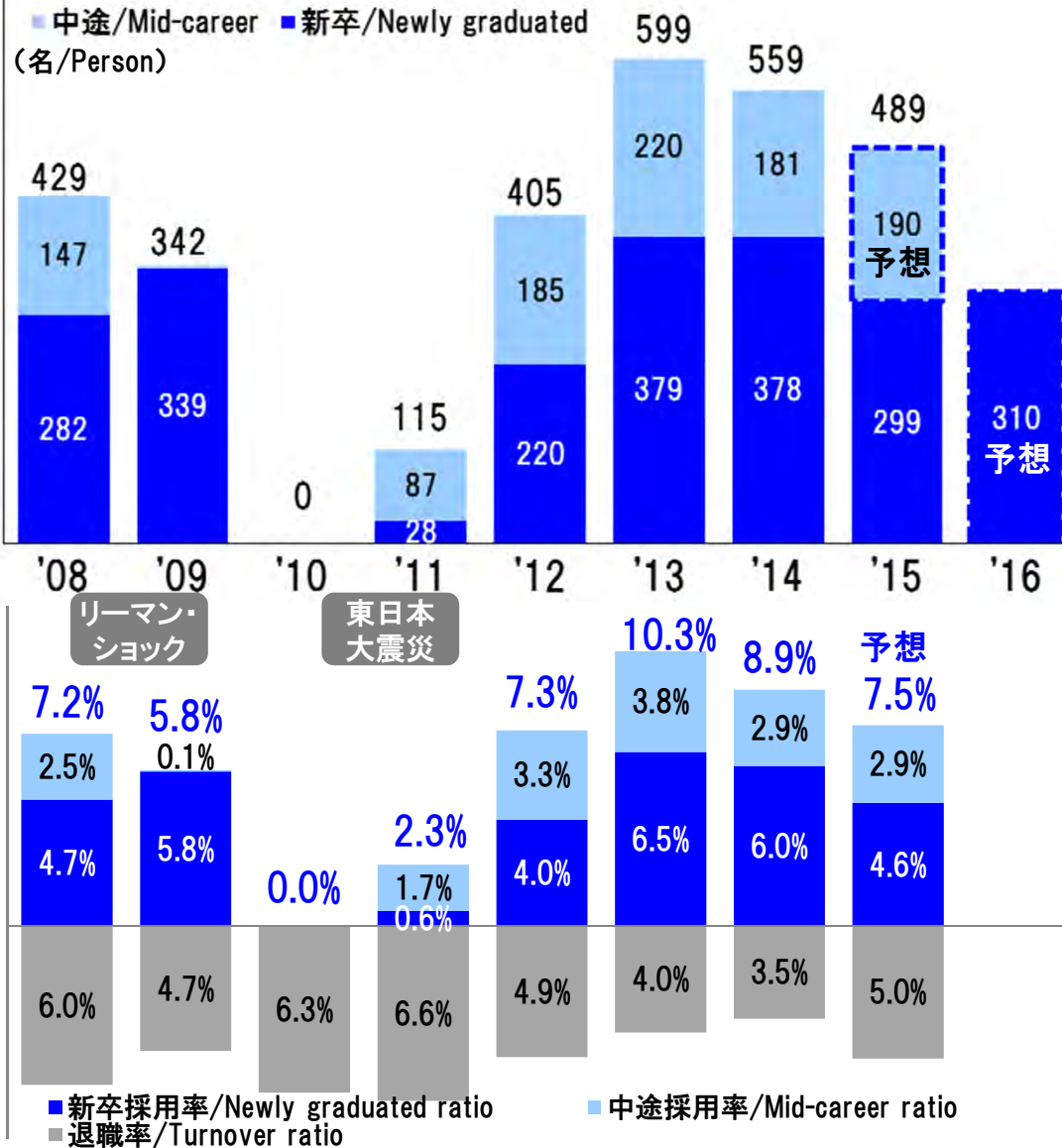
- ✓ 3月末エンジニア社員数は1,601名(前年3月末比+141名、9.7%)
- ✓ 本年4月新卒入社数は175名、過去最高の1,779名で新年度をスタート



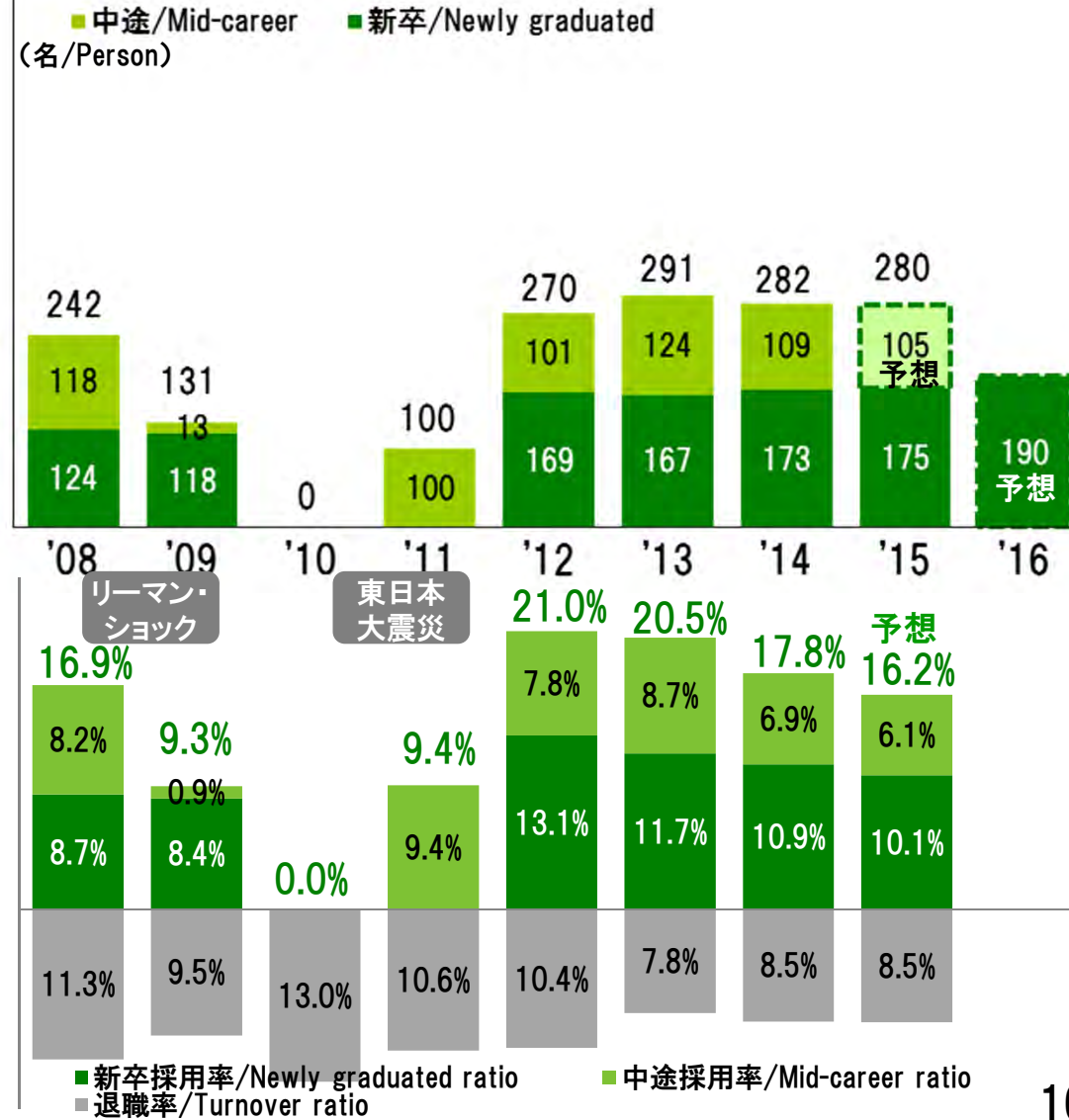
# 採用と退職

- ✓ 採用環境は厳しいが、採用基準は下げない
- ✓ 退職率は過去最低水準へ低下⇒増員に寄与

## メイテック



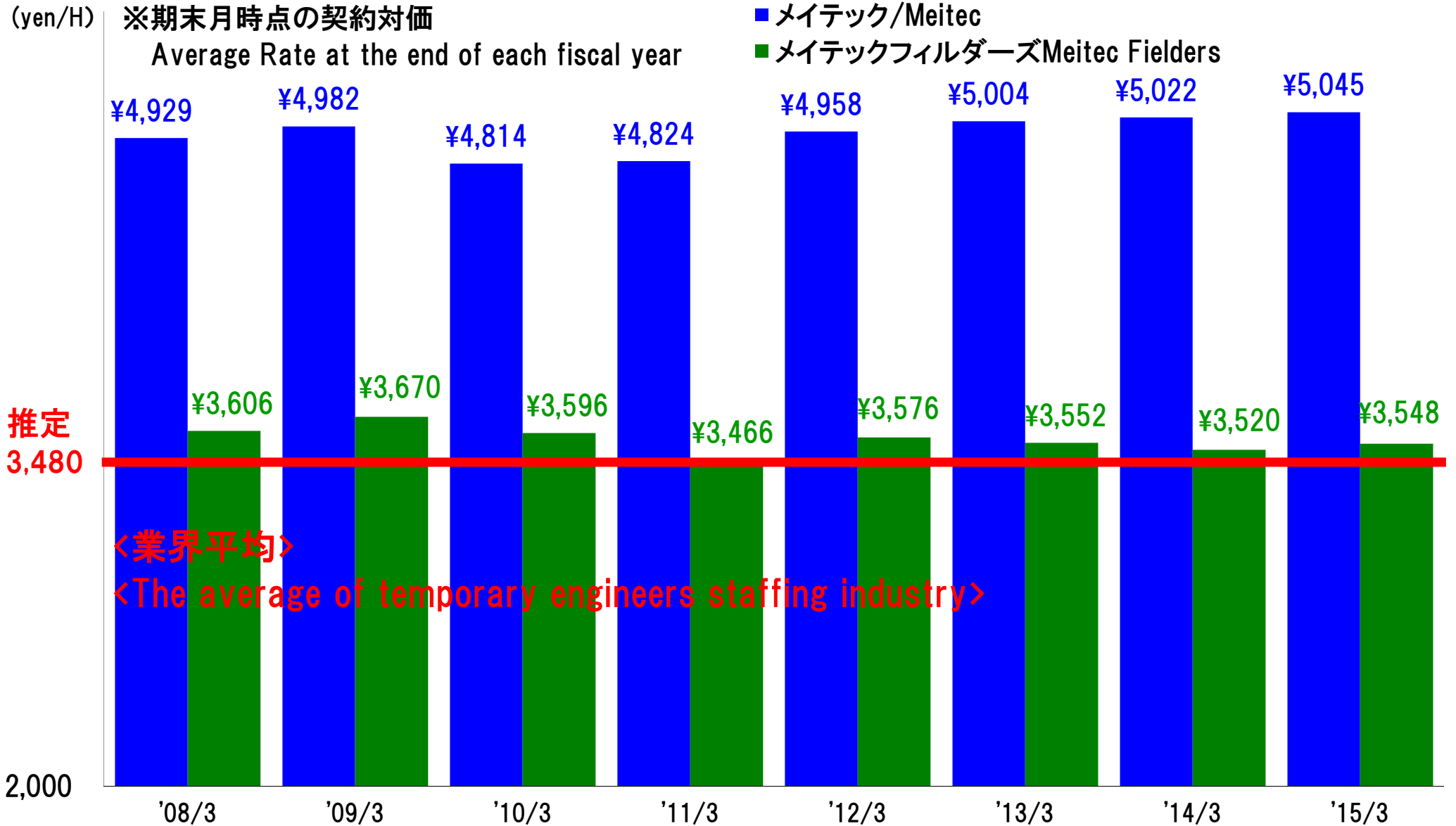
## メイテックフィルダース





# 対価・単価(・レート)=[市場価値]

- ✓ エンジニア一人ひとりがアウトプットの価値を高め、お客さまに価値を理解して頂く  
 → 市場価値に基づく「適正対価の獲得」を継続して努めていきます



# 利益配分に関する基本方針

- ✓ 持続的な成長の実現を通じて、中長期的に株主還元の最大化を目指す
- ✓ 利益配分に関する当社の基本的な考え方は、業績に基づいた成果配分

2011年5月改訂  
 利益配分方針

総還元性向

100%以内を原則

配当

業績連動型配当

連結当期純利益の50%以上

最低限の配当

連結株主資本配当率(DOE)5%

自己株式の  
 取得・  
 保有・消却

自己株式の取得

月商3ヶ月分を上回る資金を自己株式取得原資

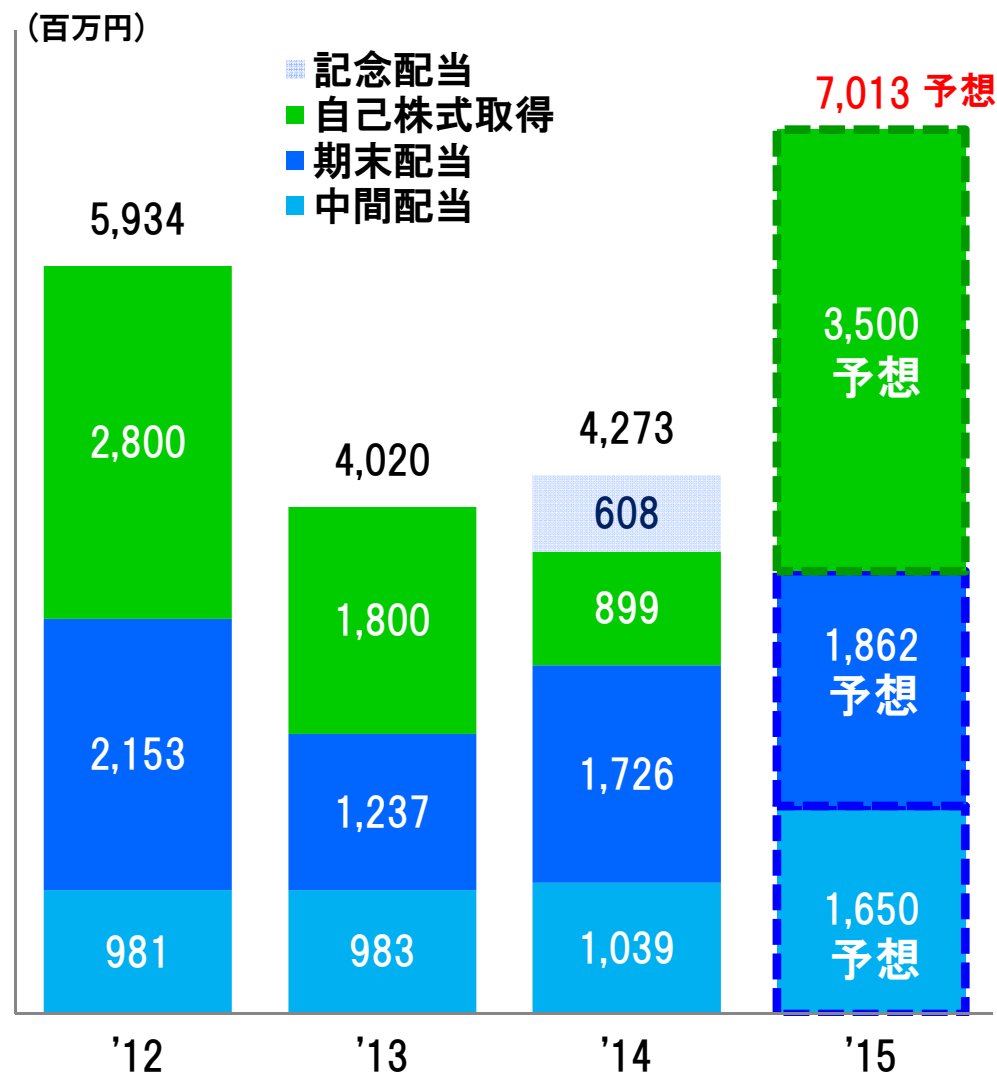
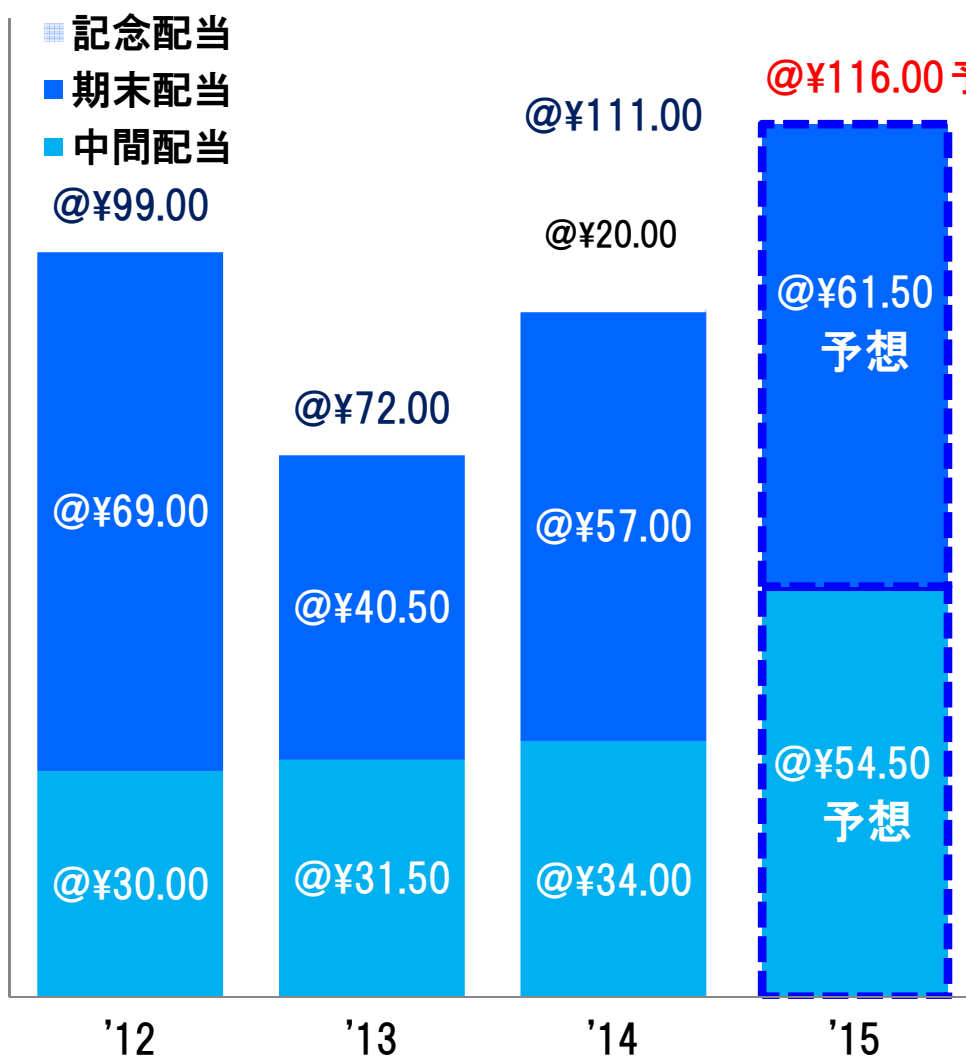
継続保有：上限2百万株

消却：上限超を消却

- ✓ 月商3ヶ月分＝「必要運転資金(ワーキングキャピタル):連結売上高の月商2ヶ月」+「財務基盤強化資金(2010年3月期に相当する危機的な市場環境になった際の事業継続資金):連結売上高の月商1ヶ月」
- ✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

# 利益配分の実績と予想

- ✓ 2014年度の期末配当は57円に記念配当10円を含んだ67円、中間配当44円と合わせた年間配当金は111円
- ✓ 2015年度は方針に則した「普通配当(@116円、約35億円)と自己株式取得(35億円)」総還元性向100%=(普通配当35億円+自己株式取得額35億円)÷当期純利益予想70億円



人と技術で次代を拓く

**MEITEC**

メイテックグループ